

SONY

2024年度 第3四半期 連結業績概要

(2024年12月31日に終了した3カ月間)

2025年2月13日

ソニーグループ株式会社

2024年度 3Q 連結業績

	金融分野を除く連結ベース			ソニー連結			(億円)
	FY23.3Q	FY24.3Q	前年同期比	FY23.3Q	FY24.3Q	前年同期比	
売上高*1	34,394	36,957	+2,563 (+7%)	37,475	44,096	+6,620 (+18%)	
営業利益	3,861	4,230	+369 (+10%)	4,633	4,693	+60 (+1%)	
営業利益率	11.2%	11.4%	+0.2 pts	12.4%	10.6%	△1.7 pts	
税引前利益	3,813	4,477	+664 (+17%)	4,586	4,941	+355 (+8%)	
当社株主に帰属する四半期純利益	3,089	3,411	+321 (+10%)	3,639	3,737	+98 (+3%)	
普通株式1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益（希薄化後）*2	50.05円	56.41円	+6.36 円	58.96円	61.82円	+2.86 円	
調整後OIBDA*3	5,440	5,877	+437 (+8%)	6,283	6,409	+126 (+2%)	
調整後EBITDA*3	5,207	5,959	+752 (+14%)	6,050	6,491	+441 (+7%)	
平均為替レート							
1米ドル	147.9円	152.2円					
1ユーロ	159.0円	162.5円					

調整後OIBDA、調整後EBITDA及び金融分野を除く連結ベースの数値は国際財務報告基準（以下「IFRS」）に則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

調整後OIBDA及び調整後EBITDAの算式及び調整を含む詳細についてはP.23-29を参照（次頁以降も同じ）。

*1 IFRSにおける「売上高及び金融ビジネス収入」を「売上高」として表示しています（次頁以降も同じ）。

*2 ソニーは、2024年9月30日を基準日、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っています。上記の普通株式1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益（希薄化後）は、FY23の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しています（次頁以降も同じ）。

*3 連結ベースの調整後EBITDAと調整後OIBDAの差額は、金融収益及び金融費用（支払利息（純額）及び資本性金融商品の再評価益（純額）を除く）です。ソニーは、金融分野を除き、グローバルで集中的な為替変動リスク管理を行っていることなどにより、金融収益及び金融費用を分野別の業績評価に含めていないため、分野別の調整後EBITDAは計算・開示していません（次頁以降も同じ）。

2024年度 3Q 連結業績 前年同期比 主な変動要因

	前年同期比	主な変動要因 (+) 改善要因、(-) 悪化要因
売上高	+6,620 億円 +18 %	(+) 金融分野、G&NS分野、音楽分野の大幅増収 前年同期の為替レートを適用した場合 ^{*1} 、約15%増収
営業利益	+60 億円 +1 %	(+) G&NS分野、音楽分野の大幅増益 (-) 金融分野の大幅減益 (-) 映画分野の減益 (-) その他分野の損益悪化
法人所得税	+273 億円 (実効税率 20%→24%)	(-) 主に税額控除率の低下などともなう日本の税率上昇による影響 (-) FY23.3Qにおいて子会社の解散ともなう繰延税金資産の認識により税金費用が減少した影響
調整後OIBDA	+126 億円 +2 %	(+) 金融収益（費用）に含まれる為替差損益の大幅な改善 ^{*2} (+) G&NS分野、音楽分野の大幅増益
調整後EBITDA	+441 億円 +7 %	(-) 金融分野の大幅減益 (-) 映画分野の減益 (-) その他分野の損益悪化

調整後OIBDA及び調整後EBITDAはIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

*1 為替変動による売上高及び営業損益への影響についてはP.29を参照（次頁以降も同じ）。

*2 調整後EBITDAのみの増減要因で調整後OIBDAの増減要因には含まれない。

調整後利益^{※1} (3Q・金融分野を除く連結ベース)

(億円)

	FY23.3Q			FY24.3Q			前年同期比	
	調整前	非経常的な損(益) ^{※2}	調整後	調整前	非経常的な損(益) ^{※2}	調整後	調整前	調整後
営業利益	3,861	—	3,861	4,230	—	4,230	+369 (+10%)	+369 (+10%)
税引前利益	3,813	—	3,813	4,477	—	4,477	+664 (+17%)	+664 (+17%)
法人所得税	691 〔実効税率 18%〕	+76	767 〔実効税率 20%〕	1,048 〔実効税率 23%〕	—	1,048 〔実効税率 23%〕	+357 (+52%)	+281 (+37%)
当社株主に帰属する 四半期純利益	3,089	△76	3,013	3,411	—	3,411	+321 (+10%)	+397 (+13%)

調整後利益及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※1 調整後利益は、非経常的な損益を含まない。

※2 金融分野を除く連結ベースの非経常的な損益の詳細についてはP.4を参照（次頁以降も同じ）。

非経常的な損益（金融分野を除く連結ベース）

（億円）

	FY23 3Q	FY23 1Q-3Q	FY23		FY24 3Q	FY24 1Q-3Q
営業利益（調整前）に含まれる項目	－	+60	+60	営業利益（調整前）に含まれる項目	－	－
従来持分法で会計処理されていた会社の連結子会社化による再評価益（音楽分野・1Q）	－	+60	+60			
金融収益・費用に含まれる項目	－	－	－	金融収益・費用に含まれる項目	－	－
税引前利益（調整前）に含まれる項目	－	+60	+60	税引前利益（調整前）に含まれる項目	－	－
法人所得税（調整前）に含まれる項目	△76	△65	△63	法人所得税（調整前）に含まれる項目	－	－
上記項目に関わる税効果	－	+11	+13			
子会社の解散にともなう税金費用の減少（3Q）	△76	△76	△76			
非支配持分に帰属する当期純利益に含まれる項目	－	－	－	非支配持分に帰属する当期純利益に含まれる項目	－	－
当社株主に帰属する当期純利益（調整前）に含まれる項目	+76	+125	+123	当社株主に帰属する当期純利益（調整前）に含まれる項目	－	－

金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、この開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

調整後利益^{※1} (3Q・ソニー連結)

(億円)

	FY23.3Q			FY24.3Q			前年同期比	
	調整前	非経常的な損(益) ^{※2}	調整後	調整前	非経常的な損(益) ^{※2}	調整後	調整前	調整後
営業利益	4,633	—	4,633	4,693	—	4,693	+60 (+1%)	+60 (+1%)
税引前利益	4,586	—	4,586	4,941	—	4,941	+355 (+8%)	+355 (+8%)
法人所得税	912 〔実効税率 20%〕	+76	988 〔実効税率 22%〕	1,185 〔実効税率 24%〕	—	1,185 〔実効税率 24%〕	+273 (+30%)	+197 (+20%)
当社株主に帰属する 四半期純利益	3,639	△76	3,563	3,737	—	3,737	+98 (+3%)	+174 (+5%)

調整後利益はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、この開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※1 調整後利益は、非経常的な損益を含まない。

※2 ソニー連結の非経常的な損益の詳細についてはP.6を参照（次頁以降も同じ）。

非経常的な損益（ソニー連結）

(億円)

	FY23 3Q	FY23 1Q-3Q	FY23		FY24 3Q	FY24 1Q-3Q
営業利益（調整前）に含まれる項目	-	+60	+258	営業利益（調整前）に含まれる項目	-	-
従来持分法で会計処理されていた会社の連結子会社化による再評価益（音楽分野・1Q）	-	+60	+60			
ソニーペイメントサービス(株)株式の一部譲渡にともなう売却益及び再評価益（金融分野・4Q）	-	-	+198			
金融収益・費用に含まれる項目	-	-	-	金融収益・費用に含まれる項目	-	-
税引前利益（調整前）に含まれる項目	-	+60	+258	税引前利益（調整前）に含まれる項目	-	-
法人所得税（調整前）に含まれる項目	△76	△64	△16	法人所得税（調整前）に含まれる項目	-	-
上記項目に関わる税効果	-	+12	+60			
子会社の解散にともなう税金費用の減少（3Q）	△76	△76	△76			
非支配持分に帰属する当期純利益に含まれる項目	-	-	-	非支配持分に帰属する当期純利益に含まれる項目	-	-
当社株主に帰属する当期純利益（調整前）に含まれる項目	+76	+124	+274	当社株主に帰属する当期純利益（調整前）に含まれる項目	-	-

2024年度 3Q セグメント別業績

(億円)

		FY23.3Q	FY24.3Q	前年同期比	為替影響
ゲーム& ネットワークサービス (G&NS)	売上高	14,444	16,823	+2,379	+359
	営業利益	861	1,181	+319	△29
音楽	売上高	4,221	4,817	+596	+109
	営業利益	761	974	+213	
映画	売上高	3,663	3,982	+319	+106
	営業利益	416	340	△76	
エンタテインメント・テクノロジー&サービス (ET&S)	売上高	7,357	7,045	△312	+128
	営業利益	772	771	△1	+9
イメージング& センシング・ソリューション (I&SS)	売上高	5,052	5,009	△42	+173
	営業利益	997	975	△22	+118
その他	売上高	239	258	+19	
	営業利益	26	△30	△56	
全社 (共通) 及び セグメント間取引消去	売上高	△619	△1,024	△405	
	営業利益	27	18	△9	
金融分野を除く連結ベース*	売上高	34,394	36,957	+2,563	
	営業利益	3,861	4,230	+369	
金融*	金融ビジネス収入	3,117	7,185	+4,067	
	営業利益	773	464	△309	
連結*	売上高	37,475	44,096	+6,620	
	営業利益	4,633	4,693	+60	

各分野の売上高はセグメント間取引消去前のものであり、また各分野の営業利益はセグメント間取引消去前のもので配賦不能費用は含まれません (次頁以降も同じ)。

金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

* 金融分野と金融分野を除く連結ベースには両者間の取引を含んでおり、これらの相殺消去を反映した後のものが連結の数値です。また、上記の表では当該相殺消去は全額、全社 (共通) 及びセグメント間取引消去に含まれており、金融分野を除く連結ベースの数値は金融分野以外の各分野の数値の単純合算とは一致しません (次頁以降も同じ)。

2024年度 1Q-3Q 連結業績

(億円)

	金融分野を除く連結ベース			ソニー連結		
	FY23.1Q-3Q	FY24.1Q-3Q	前年同期比	FY23.1Q-3Q	FY24.1Q-3Q	前年同期比
売上高	84,541	92,366	+7,825 (+9%)	95,398	103,268	+7,870 (+8%)
営業利益	8,319	10,614	+2,295 (+28%)	9,794	12,035	+2,241 (+23%)
営業利益率	9.8%	11.5%	+1.7 pts	10.3%	11.7%	+1.4 pts
税引前利益	8,948	11,191	+2,243 (+25%)	9,922	12,612	+2,690 (+27%)
当社株主に帰属する四半期純利益	7,275	8,430	+1,155 (+16%)	7,816	9,439	+1,623 (+21%)
普通株式1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益（希薄化後）	117.64円	138.66円	+21.02 円	126.39円	155.25円	+28.86 円
調整後OIBDA	12,819	15,597	+2,778 (+22%)	14,503	17,223	+2,720 (+19%)
調整後EBITDA	13,193	15,550	+2,358 (+18%)	14,376	17,176	+2,800 (+19%)
平均為替レート						
1米ドル	143.1円	152.4円				
1ユーロ	155.1円	164.7円				

調整後OIBDA、調整後EBITDA及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

調整後利益[※]（1Q-3Q・金融分野を除く連結ベース）

（億円）

	FY23.1Q-3Q			FY24.1Q-3Q			前年同期比	
	調整前	非経常的な 損(益)	調整後	調整前	非経常的な 損(益)	調整後	調整前	調整後
営業利益	8,319	△60	8,259	10,614	—	10,614	+2,295 (+28%)	+2,355 (+29%)
税引前利益	8,948	△60	8,888	11,191	—	11,191	+2,243 (+25%)	+2,303 (+26%)
法人所得税	1,628 〔実効税率 18%〕	+65	1,693 〔実効税率 19%〕	2,687 〔実効税率 24%〕	—	2,687 〔実効税率 24%〕	+1,059 (+65%)	+994 (+59%)
当社株主に帰属する 四半期純利益	7,275	△125	7,150	8,430	—	8,430	+1,155 (+16%)	+1,280 (+18%)

調整後利益及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※ 調整後利益は、非経常的な損益を含まない。

調整後利益* (1Q-3Q・ソニー連結)

(億円)

	FY23.1Q-3Q			FY24.1Q-3Q			前年同期比	
	調整前	非経常的な 損(益)	調整後	調整前	非経常的な 損(益)	調整後	調整前	調整後
営業利益	9,794	△60	9,734	12,035	—	12,035	+2,241 (+23%)	+2,301 (+24%)
税引前利益	9,922	△60	9,862	12,612	—	12,612	+2,690 (+27%)	+2,750 (+28%)
法人所得税	2,057 〔実効税率 21%〕	+64	2,121 〔実効税率 22%〕	3,099 〔実効税率 25%〕	—	3,099 〔実効税率 25%〕	+1,042 (+51%)	+979 (+46%)
当社株主に帰属する 四半期純利益	7,816	△124	7,692	9,439	—	9,439	+1,623 (+21%)	+1,747 (+23%)

調整後利益はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、この開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※ 調整後利益は、非経常的な損益を含まない。

2024年度 1Q-3Q セグメント別業績

(億円)

		FY23.1Q-3Q	FY24.1Q-3Q	前年同期比	為替影響
ゲーム& ネットワークサービス (G&NS)	売上高	31,704	36,188	+4,484	+1,546
	営業利益	1,842	3,221	+1,379	+28
音楽	売上高	11,890	13,719	+1,829	+647
	営業利益	2,305	2,737	+432	
映画	売上高	10,863	10,914	+50	+618
	営業利益	870	638	△232	
エンタテインメント・テクノロジー&サービス (ET&S)	売上高	19,211	19,252	+41	+745
	営業利益	1,938	2,113	+175	+145
イメージング& センシング・ソリューション (I&SS)	売上高	12,042	13,900	+1,858	+840
	営業利益	1,588	2,266	+678	+561
その他	売上高	676	708	+31	
	営業利益	71	△82	△154	
全社（共通）及び セグメント間取引消去	売上高	△1,959	△2,449	△490	
	営業利益	△296	△279	+17	
金融分野を除く連結ベース	売上高	84,541	92,366	+7,825	
	営業利益	8,319	10,614	+2,295	
金融	金融ビジネス収入	10,971	11,038	+67	
	営業利益	1,475	1,421	△54	
連結	売上高	95,398	103,268	+7,870	
	営業利益	9,794	12,035	+2,241	

金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

2024年度 連結業績見通し

	金融分野を除く連結ベース				ソニー連結				(億円)														
	FY23	FY24見通し			FY23	FY24見通し																	
		11月時点	2月時点	11月時点比		11月時点	2月時点	11月時点比															
売上高	112,650	118,000	119,000	+1,000 (+1%)	130,208	127,100	132,000	+4,900 (+4%)															
営業利益	10,353	11,650	11,900	+250 (+2%)	12,088	13,100	13,350	+250 (+2%)															
営業利益率	9.2%	9.9%	10.0%	+0.1 pts	9.3%	10.3%	10.1%	△0.2 pts															
税引前利益	11,451	11,900	12,400	+500 (+4%)	12,687	13,350	13,850	+500 (+4%)															
当社株主に帰属する当期純利益	8,966	8,750	9,750	+1,000 (+11%)	9,706	9,800	10,800	+1,000 (+10%)															
調整後OIBDA	16,446	18,250	18,500	+250 (+1%)	18,261	19,950	20,200	+250 (+1%)															
調整後EBITDA	16,865	18,250	18,400	+150 (+1%)	18,180	19,950	20,100	+150 (+1%)															
営業キャッシュ・フロー	11,778	14,400	16,600	+2,200 (+15%)	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">1株当たり配当金</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>中間</th> <th>期末 (予定)[※]</th> <th>年間 (予定)[※]</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>株式分割後</td> <td>50円</td> <td>10円</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>株式分割前</td> <td>50円</td> <td>50円</td> <td>100円</td> <td>+15円</td> </tr> </tbody> </table> </div>					中間	期末 (予定) [※]	年間 (予定) [※]	前年度比	株式分割後	50円	10円	—	—	株式分割前	50円	50円	100円	+15円
	中間	期末 (予定) [※]	年間 (予定) [※]	前年度比																			
株式分割後	50円	10円	—	—																			
株式分割前	50円	50円	100円	+15円																			
為替レート	FY23 (実績・平均)	FY24 (前提)																					
		3Q-4Q	4Q																				
1米ドル	144.4円	146円前後	150円前後																				
1ユーロ	156.6円	160円前後	158円前後																				

調整後OIBDA、調整後EBITDA及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※ ソニーは、2024年9月30日を基準日、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っています。上記の1株当たり期末配当金（予定）は株式分割考慮前後の金額をそれぞれ記載しています。株式分割考慮後の1株当たり年間配当金合計（予定）は、株式分割の影響により、中間配当金と期末配当金との単純合算ができないため記載していません。

2024年度 連結業績見通し 11月時点比 主な変動要因

	11月時点比	主な変動要因 (+) 改善要因、(-) 悪化要因
売上高	+4,900 億円 +4 %	(+) 金融分野、G&NS分野の増収
営業利益	+250 億円 +2 %	(+) G&NS分野の増益
税引前利益	+500 億円 +4 %	(+) 営業利益見通しの上方修正 (+) 株式評価益の計上などによる金融収益（純額）の増加
当社株主に帰属する 当期純利益	+1,000 億円 +10 %	(+) 税引前利益見通しの上方修正 (+) 主に以下の要因（合計+600億円）による税金費用の減少 (+) 子会社の解散にともなう税金費用の減少 (+) 子会社からの資本の払い戻しにともなう税金費用の減少
調整後OIBDA	+250 億円 +1 %	(+) G&NS分野の増益
調整後EBITDA	+150 億円 +1 %	

調整後OIBDA及び調整後EBITDAはIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

2024年度 セグメント別業績見通し

(億円)

		FY23	11月時点 FY24見通し	2月時点 FY24見通し	11月時点比増減
ゲーム& ネットワークサービス (G&NS)	売上高	42,677	44,900	46,100	+1,200
	営業利益	2,902	3,550	3,800	+250
音楽	売上高	16,190	17,400	17,900	+500
	営業利益	3,017	3,300	3,400	+100
映画	売上高	14,931	15,100	15,100	—
	営業利益	1,177	1,150	1,150	—
エンタテインメント・テクノロジー & サービス (ET&S)	売上高	24,537	24,200	24,200	—
	営業利益	1,874	1,900	1,900	—
イメージング & センシング・ソリューション (I&SS)	売上高	16,027	17,700	17,900	+200
	営業利益	1,935	2,500	2,500	—
その他、全社（共通）及び セグメント間取引消去	営業利益	△552	△750	△850	△100
金融分野を除く連結ベース	売上高	112,650	118,000	119,000	+1,000
	営業利益	10,353	11,650	11,900	+250
金融	金融ビジネス収入	17,700	9,100	13,000	+3,900
	営業利益	1,736	1,450	1,450	—
連結	売上高	130,208	127,100	132,000	+4,900
	営業利益	12,088	13,100	13,350	+250

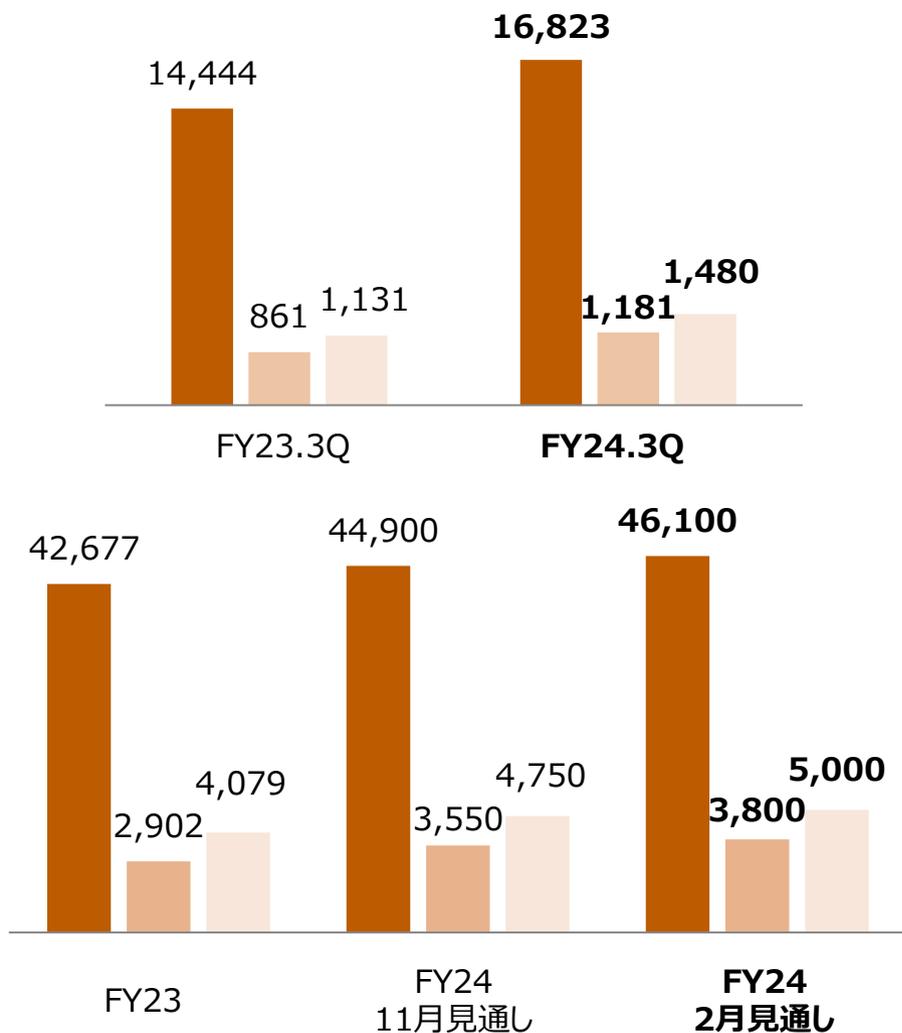
金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

ゲーム&ネットワークサービス分野（G&NS分野）

売上高、営業利益及び調整後OIBDA

- 売上高
- 営業利益
- 調整後OIBDA

(億円)



2024年度第3四半期（前年同期比）

- 売上高 2,379億円（16%）大幅増収（為替影響：+359億円）
 - ・（+）販売台数増加によるハードウェアの増収
 - ・（+）アドオンコンテンツを含む自社制作以外のゲームソフトウェア販売増加
- 営業利益 319億円（37%）大幅増益（為替影響：△29億円）
 / 調整後OIBDA 349億円（31%）大幅増益
 - ・（+）ネットワークサービスの増収の影響
 - ・（+）自社制作以外のゲームソフトウェア販売増加の影響
 - ・（+）ハードウェアの損失縮小
 - ・（-）自社制作のゲームソフトウェア販売減少の影響

2024年度見通し（11月時点比）

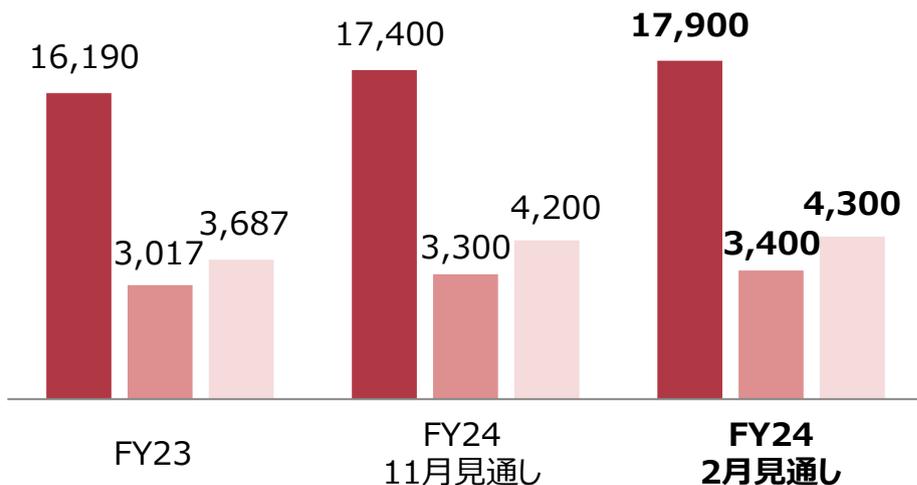
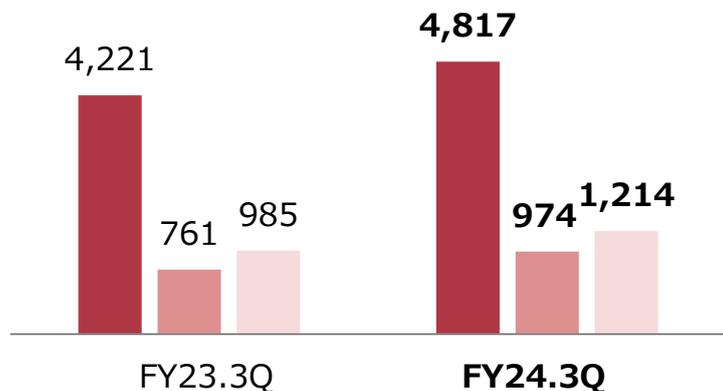
- 売上高 1,200億円（3%）上方修正
 - ・（+）為替の影響
 - ・（+）ネットワークサービスの増収
- 営業利益 250億円（7%）上方修正 / 調整後OIBDA 250億円（5%）上方修正
 - ・（+）ネットワークサービスの増収の影響

音楽分野

売上高、営業利益及び調整後OIBDA

- 売上高
- 営業利益
- 調整後OIBDA

(億円)



2024年度第3四半期（前年同期比）

- 売上高 596億円（14%）大幅増収（為替影響：+109億円）
 - ・（+）音楽制作及び音楽出版におけるストリーミングサービスからの収入増加
 - ・（+）以下の一時的な要因を除く、ストリーミングサービスからの収入増加
 - ・（+）音楽制作における一時的な要因*による収入増加
 - ・（+）映像メディア・プラットフォームにおける(株)イープラスの連結子会社化の影響
 - ・（+）為替の影響
- 営業利益 213億円（28%）大幅増益 / 調整後OIBDA 229億円（23%）大幅増益
 - ・（+）増収の影響

2024年度見通し（11月時点比）

- 売上高 500億円（3%）上方修正
 - ・（+）為替の影響
 - ・（+）映像メディア・プラットフォームにおける(株)イープラスの連結子会社化の影響
- 営業利益 100億円（3%）上方修正 / 調整後OIBDA 100億円（2%）上方修正
 - ・（+）為替の好影響

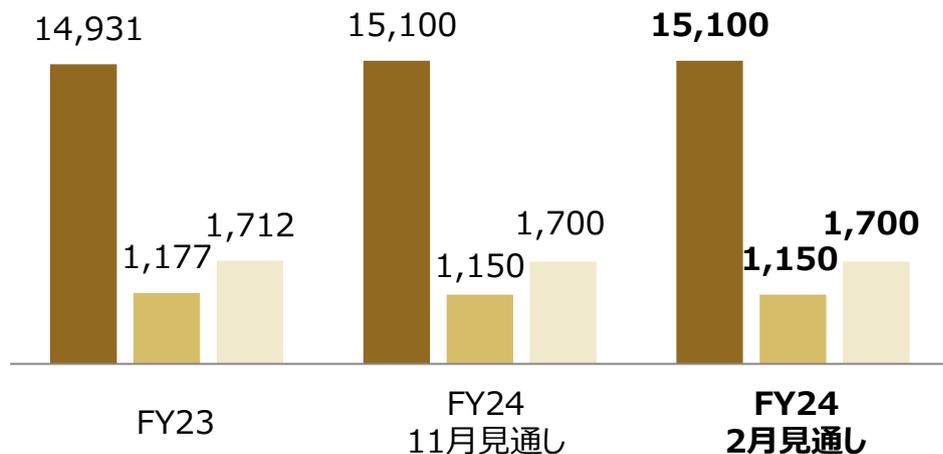
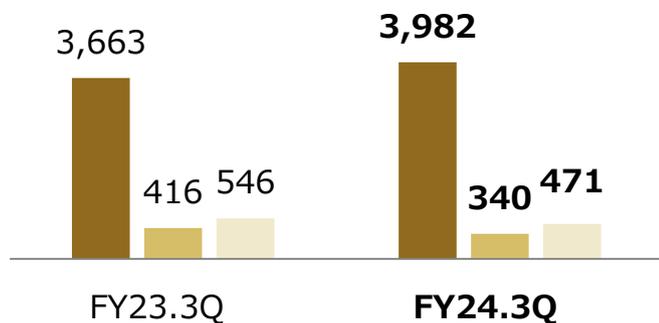
*特定のデジタル配信プロバイダーからの収入を純額から総額計上に変更した影響

映画分野

売上高、営業利益及び調整後OIBDA

- 売上高
- 営業利益
- 調整後OIBDA

(億円)



2024年度第3四半期 (前年同期比)

以下の要因分析は米ドルベース

- 売上高 319億円 (9%) 増収 米ドルベース: +145百万米ドル (+6%)
 - ・ (+) 当年度劇場公開作品からの収入増加
 - ・ (+) Alamo Drafthouse Cinemaの買収の影響
 - ・ (+) 有料会員数増加等によるCrunchyrollの増収
 - ・ (-) テレビ番組制作における納入作品数の減少
 - ・ (-) 映画製作における過去作品のライセンス収入の減少
- 営業利益 76億円 (18%) 減益 米ドルベース: △58百万米ドル (△21%)
/ 調整後OIBDA 75億円 (14%) 減益 米ドルベース: △60百万米ドル (△16%)
 - ・ (-) 劇場公開に係る広告宣伝費の増加

2024年度見通し (11月時点比)

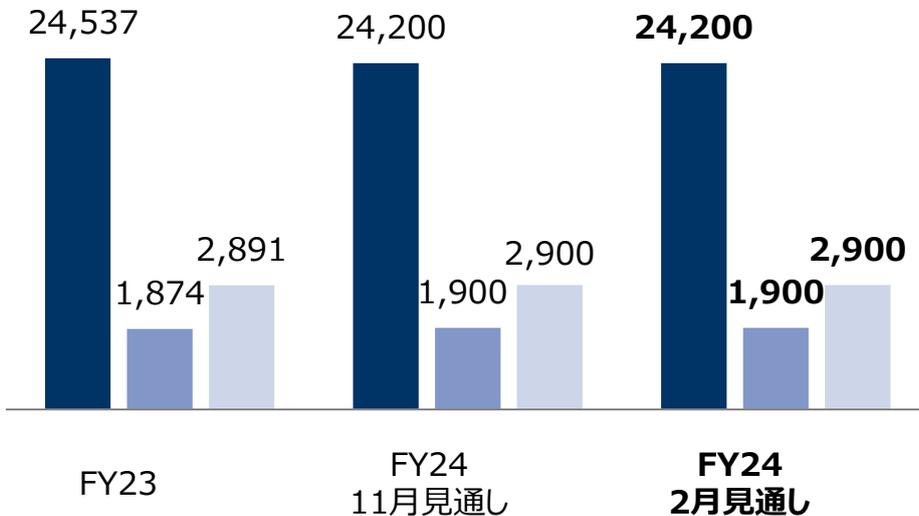
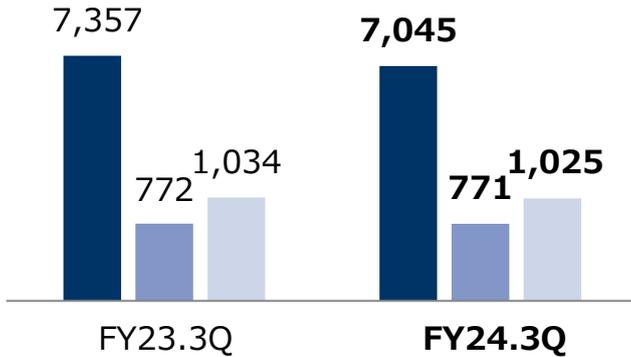
- 売上高 11月時点から変更なし
 - ・ (+) 為替の影響
 - ・ (-) 当年度劇場公開作品からの収入減少
- 営業利益 / 調整後OIBDA 11月時点から変更なし

エンタテインメント・テクノロジー&サービス分野（ET&S分野）

売上高、営業利益及び調整後OIBDA

- 売上高
- 営業利益
- 調整後OIBDA

(億円)



2024年度第3四半期（前年同期比）

- 売上高 312億円（4%）減収（為替影響：+128億円）
 - ・（-）販売台数減少によるテレビの減収
 - ・（+）為替の影響
- 営業利益 ほぼ横ばい（為替影響：+9億円） / 調整後OIBDA ほぼ横ばい
 - ・（-）テレビの販売台数減少の影響
 - ・（-）デジタルカメラの製品ミックスの悪化の影響
 - ・（+）オペレーション費用の削減

2024年度見通し（11月時点比）

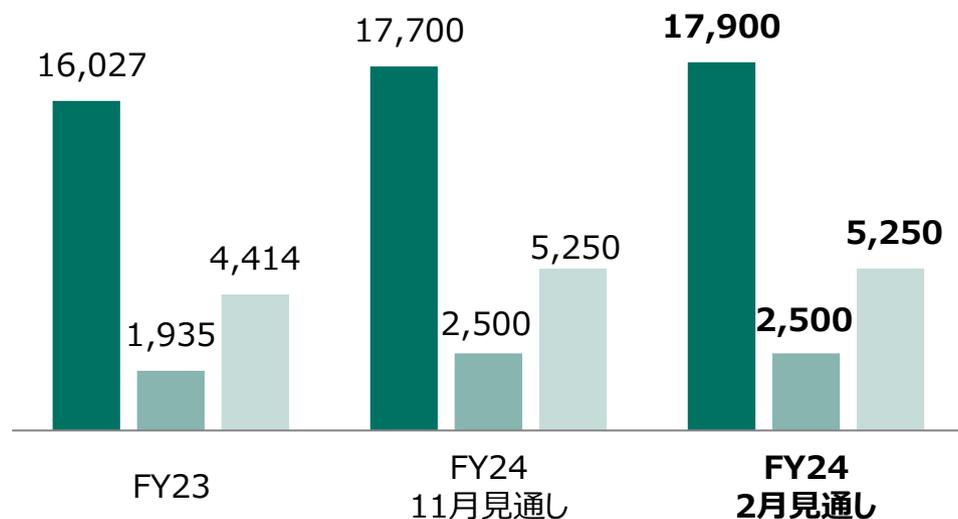
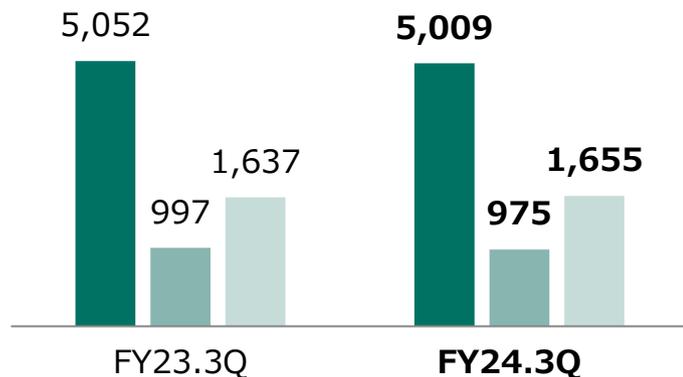
- 売上高 11月時点から変更なし
- 営業利益 / 調整後OIBDA 11月時点から変更なし

イメージング&センシング・ソリューション分野 (I&SS分野)

売上高、営業利益及び調整後OIBDA

(億円)

- 売上高
- 営業利益
- 調整後OIBDA



2024年度第3四半期 (前年同期比)

- 売上高 ほぼ横ばい (為替影響: +173億円)
 - ・ (-) モバイル機器向けイメージセンサーの減収
 - ・ (-) 販売数量の減少
 - ・ (+) 為替の影響
- 営業利益 22億円 (2%) 減益 (為替影響: +118億円)
/ 調整後OIBDA ほぼ横ばい
 - ・ (-) 製造経費の増加
 - ・ (-) 減収の影響
 - ・ (+) 為替の好影響
 - ・ (+) モバイル機器向けイメージセンサーの新製品量産立上げにおける費用の減少

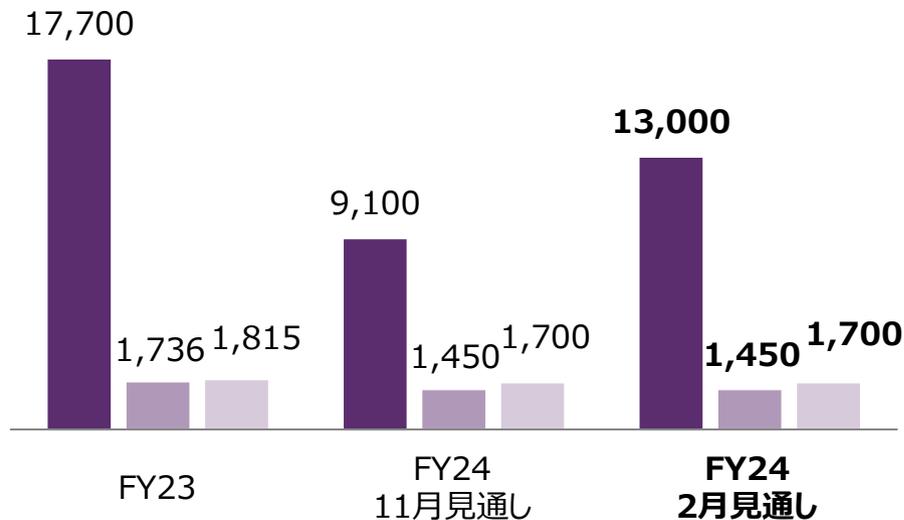
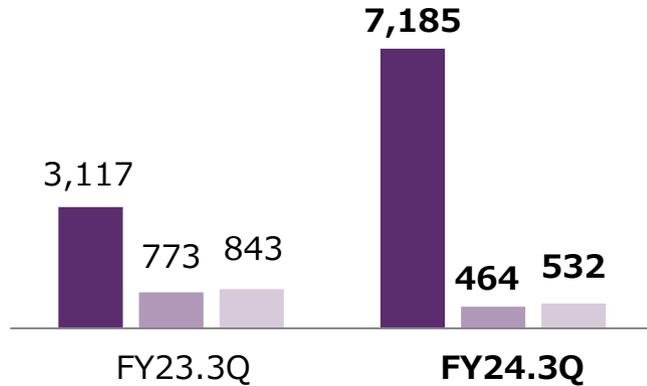
2024年度見通し (11月時点比)

- 売上高 200億円 (1%) 上方修正
 - ・ (+) 為替の影響
- 営業利益 / 調整後OIBDA 11月時点から変更なし

金融ビジネス収入、営業利益及び調整後OIBDA

(億円)

- 金融ビジネス収入
- 営業利益
- 調整後OIBDA



2024年度第3四半期（前年同期比）

- 金融ビジネス収入 4,067億円（130%）大幅増収
 - ・（+）ソニー生命の大幅増収（+4,008億円、収入：6,499億円）
 - ・（+）市況変動による一般勘定及び特別勘定における資産運用益の増加
- 営業利益 309億円（40%）大幅減益
/ 調整後OIBDA 311億円（37%）大幅減益
 - ・（-）ソニー生命の大幅減益（△295億円、営業利益：422億円）
 - ・（-）変額保険の最低保証等に係る市況変動による損益の悪化

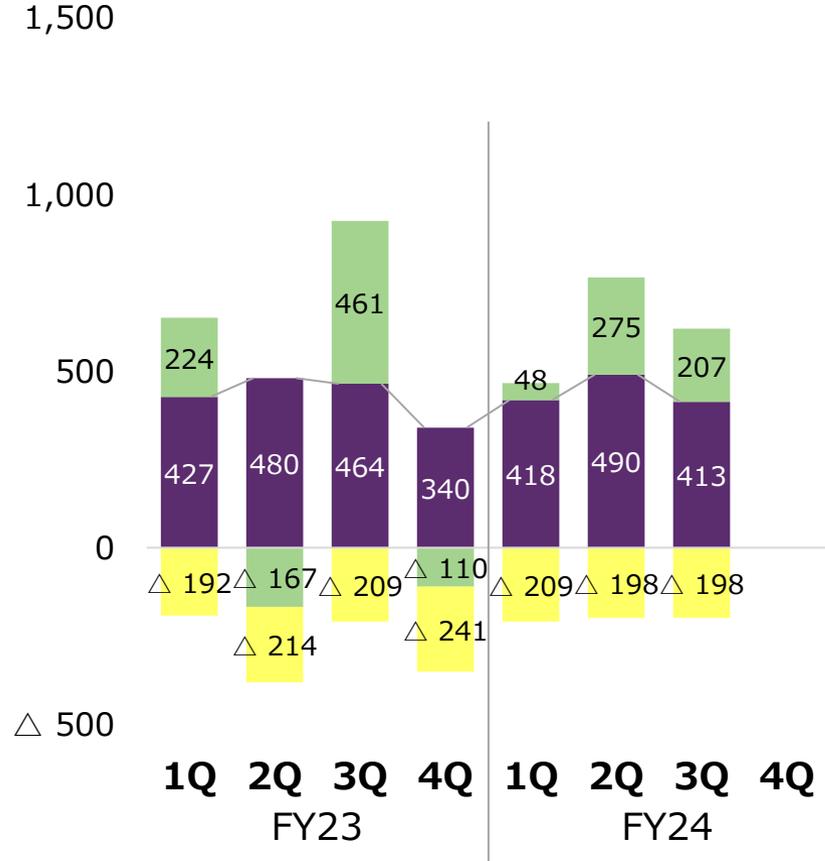
2024年度見通し（11月時点比）

- 金融ビジネス収入 3,900億円（43%）上方修正
 - ・（+）ソニー生命における市況変動による特別勘定の資産運用益の増加
- 営業利益 / 調整後OIBDA 11月時点から変更なし
 - ・（+）ソニー生命における変額保険の最低保証等に係る市況変動による利益の増加
 - ・（-）ソニー生命の債券売却にともなう損失
 - ・（-）市況変動の不確実性

金融分野

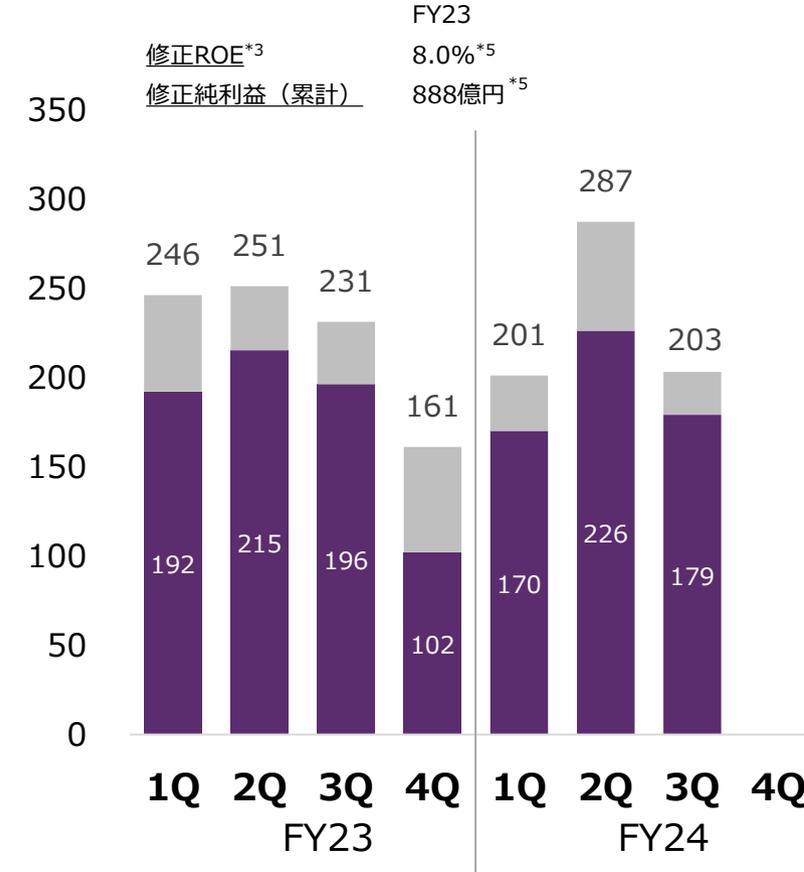
ソニー生命の営業利益内訳

■ 保険サービス損益*1
 ■ 投資損益
 ■ その他損益 } その他*2
 (億円)



修正純利益*3

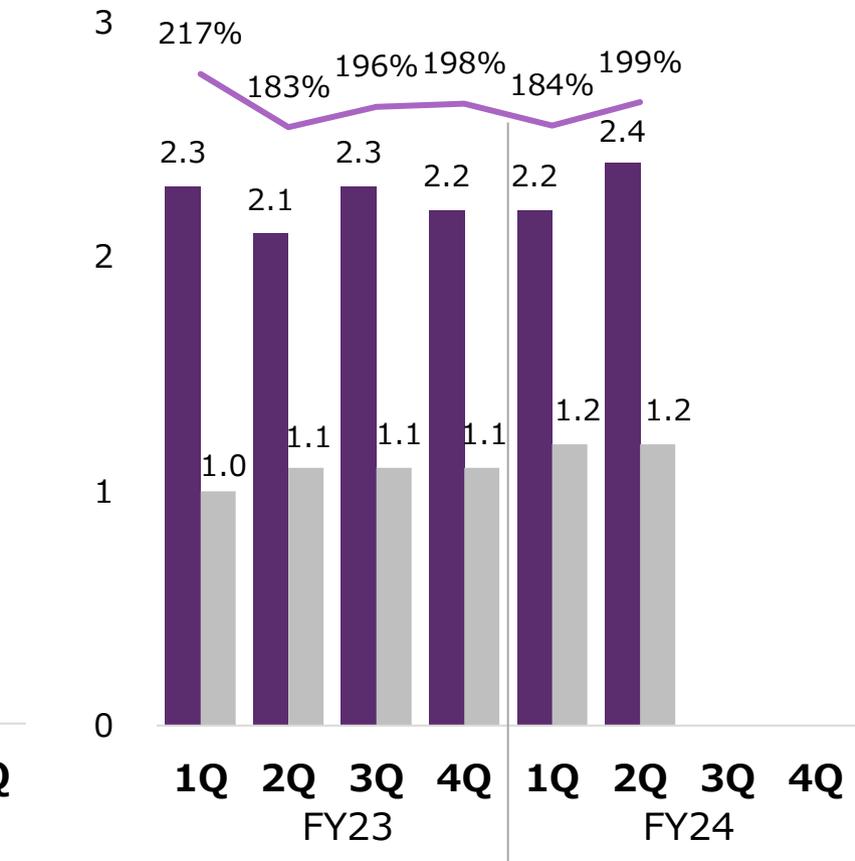
■ ソニー生命
 ■ その他*4
 (億円)



グループ連結ESR*6

*6 FY24.3Qのグループ連結ESRは、2025年2月19日に当社ウェブサイトにて開示予定。

— ESR
 ■ 経済価値資本
 ■ 経済価値税引後リスク量
 (兆円)



*1 保険サービス損益 = 保険収益 - 保険サービス費用

*2 その他 = その他の金融ビジネス収入 - 保険金融費用(収益) - その他の金融ビジネス費用。「その他」は、「連結業績補足説明資料」におけるInvestment result(投資損益)とOther result(その他損益)の合計と一致する。

*3 修正ROEは、修正純利益を四半期平均純資産(期首純資産と各四半期末純資産の合計値を5で除した数値)で除して算出しています。修正純利益及び修正ROEはIFRS及びソニー・フィナンシャルグループ(株)(以下「SFGI」)と、ソニー生命、ソニー損保及びソニー銀行の業績(連結・単体)の準拠する日本の会計基準に則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

*4 「その他」には、ソニー損保、ソニー銀行、ソニー・ライフケア及び連結調整を含む。

*5 FY24 1Qより修正純利益及び修正ROEの調整項目に係る税率の計算方法を変更しており、2024年5月31日開催の事業説明会資料にて開示したFY23の数値を同様の計算方法にもとづき修正再表示しています。修正純利益の調整の詳細についてはP.22を参照。

*6 ESRは、経済価値ベースのリスク量に対する資本(=経済価値ベースのエンベディット・バリュー+フリクショナル・コスト)の比率。数値は各四半期末時点。

金融分野

当期純利益から修正純利益への調整表

(億円)

	FY23				FY24			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
税引前当期純利益（営業利益）*1	545	157	773	261	300	657	464	
税引後当期純利益	385	107	550	198	215	467	327	
SFGI関連調整項目	-	-	-	-	-	-	-	
ソニー生命関連調整項目	△139	144	△319	110	△14	△181	△124	
投資損益のうち変額保険関連損益*2・為替差額 （除くヘッジコスト相当分等*3）	△4,512	1,140	△908	△4,541	△2,181	2,997	△4,734	
保険金融損益のうち変額保険関連損益*4・為替差額	4,478	△933	464	4,581	2,168	△3,246	4,630	
有価証券の売却損益	△160	△6	△1	113	△6	△3	△2	
その他一過性の損益	-	-	-	-	-	-	△67	
上記に係る税効果	54	△56	125	△43	6	71	49	
ソニー損保関連調整項目	-	-	-	-	-	-	-	
ソニー銀行関連調整項目	-	-	-	△147	-	-	-	
ソニーペイメントサービス株式譲渡関連益	-	-	-	△198	-	-	-	
上記に係る税効果	-	-	-	50	-	-	-	
その他子会社関連調整項目	-	-	-	-	-	-	-	
調整項目合計	△139	144	△319	△38	△14	△181	△124	
税引後修正純利益	246	251	231	161	201	287	203	

*1 金融分野においては営業外の金融収益・費用が発生しないため営業利益と税引前当期純利益が一致する。

*2 変額保険・変額個人年金保険見合いで有する、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産から生じるもの。

*3 ヘッジポジションを保持するために必要な取引手数料・マージンコスト。純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定（FVO指定）した債券から生じる当期の経過利息（期首金利に基づく）を含む。

*4 変額保険・変額個人年金保険に係る基礎となる項目の変動ならびに金利及びその他金融リスクの変動による影響。

調整後EBITDA調整表 (3Q)

(億円)

	金融分野を除く連結ベース		ソニー連結	
	FY23.3Q	FY24.3Q	FY23.3Q	FY24.3Q
当社株主に帰属する四半期純利益	3,089	3,411	3,639	3,737
非支配持分に帰属する四半期純利益	33	18	35	18
法人所得税	691	1,048	912	1,185
金融収益・費用に計上される支払(受取)利息(純額)	21	△53	21	△53
金融収益・費用に計上される資本性金融商品の再評価損(益)(純額)	△206	△112	△206	△112
減価償却費・償却費※1	1,579	1,647	1,649	1,715
非経常的な損(益)※2	—	—	—	—
調整後EBITDA	5,207	5,959	6,050	6,491

調整後EBITDA及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※1 減価償却費・償却費には、コンテンツ資産に含まれる繰延映画製作費、テレビ放映権ならびに自社制作のゲームコンテンツ及び原盤制作費の償却費を含んでいません。

※2 営業利益に含まれる項目。

セグメント別調整後OIBDA 実績及び調整表 (3Q)

(億円)

	FY23.3Q				FY24.3Q				前年同期比
	営業利益	減価償却費・償却費※1	非経常的な損(益)※2	調整後OIBDA	営業利益	減価償却費・償却費※1	非経常的な損(益)※2	調整後OIBDA	調整後OIBDA
ゲーム&ネットワークサービス (G&NS)	861	270	—	1,131	1,181	299	—	1,480	+349
音楽	761	224	—	985	974	240	—	1,214	+229
映画	416	129	—	546	340	130	—	471	△75
エンタテインメント・テクノロジー&サービス (ET&S)	772	262	—	1,034	771	254	—	1,025	△9
イメージング&センシング・ソリューション (I&SS)	997	640	—	1,637	975	680	—	1,655	+18
その他	26	11	—	37	△30	11	—	△19	△57
全社(共通)及びセグメント間取引消去	27	42	—	69	18	33	—	51	△18
金融分野を除く連結ベース	3,861	1,579	—	5,440	4,230	1,647	—	5,877	+437
金融	773	70	—	843	464	68	—	532	△311
連結	4,633	1,649	—	6,283	4,693	1,715	—	6,409	+126

調整後OIBDA及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※1 減価償却費・償却費には、コンテンツ資産に含まれる繰延映画製作費、テレビ放映権ならびに自社制作のゲームコンテンツ及び原盤制作費の償却費を含んでいません。

※2 営業利益に含まれる項目。

調整後EBITDA調整表 (1Q-3Q)

(億円)

	金融分野を除く連結ベース		ソニー連結	
	FY23.1Q-3Q	FY24.1Q-3Q	FY23.1Q-3Q	FY24.1Q-3Q
当社株主に帰属する四半期純利益	7,275	8,430	7,816	9,439
非支配持分に帰属する四半期純利益	45	74	49	74
法人所得税	1,628	2,687	2,057	3,099
金融収益・費用に計上される支払(受取)利息 (純額)	47	△40	47	△40
金融収益・費用に計上される資本性金融商品の再評価損(益) (純額)	△302	△583	△302	△583
減価償却費・償却費※1	4,560	4,983	4,769	5,188
非経常的な損(益)※2	△60	—	△60	—
調整後EBITDA	13,193	15,550	14,376	17,176

調整後EBITDA及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※1 減価償却費・償却費には、コンテンツ資産に含まれる繰延映画製作費、テレビ放映権ならびに自社制作のゲームコンテンツ及び原盤製作費の償却費を含んでいません。

※2 営業利益に含まれる項目。

セグメント別調整後OIBDA 実績及び調整表 (1Q-3Q)

(億円)

	FY23.1Q-3Q				FY24.1Q-3Q				前年同期比
	営業利益	減価償却費・償却費※1	非経常的な損(益)※2	調整後OIBDA	営業利益	減価償却費・償却費※1	非経常的な損(益)※2	調整後OIBDA	調整後OIBDA
ゲーム&ネットワークサービス (G&NS)	1,842	879	－	2,721	3,221	905	－	4,126	+1,406
音楽	2,305	541	△60	2,785	2,737	672	－	3,409	+623
映画	870	385	－	1,256	638	435	－	1,074	△182
エンタテインメント・テクノロジー&サービス (ET&S)	1,938	780	－	2,718	2,113	773	－	2,886	+168
イメージング&センシング・ソリューション (I&SS)	1,588	1,821	－	3,409	2,266	2,060	－	4,326	+917
その他	71	34	－	105	△82	37	－	△45	△150
全社 (共通) 及びセグメント間取引消去	△296	121	－	△174	△279	101	－	△178	△4
金融分野を除く連結ベース	8,319	4,560	△60	12,819	10,614	4,983	－	15,597	+2,778
金融	1,475	209	－	1,684	1,421	205	－	1,625	△59
連結	9,794	4,769	△60	14,503	12,035	5,188	－	17,223	+2,720

調整後OIBDA及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※1 減価償却費・償却費には、コンテンツ資産に含まれる繰延映画製作費、テレビ放映権ならびに自社制作のゲームコンテンツ及び原盤制作費の償却費を含んでいません。

※2 営業利益に含まれる項目。

調整後EBITDA調整表

(億円)

	金融分野を除く 連結ベース	ソニー連結
	FY23	FY23
当社株主に帰属する当期純利益	8,966	9,706
非支配持分に帰属する当期純利益	94	99
法人所得税	2,391	2,882
金融収益・費用に計上される支払(受取)利息(純額)	34	34
金融収益・費用に計上される資本性金融商品の再評価損(益)(純額)	△714	△714
減価償却費・償却費※1	6,154	6,431
非経常的な損(益)※2	△60	△258
調整後EBITDA	16,865	18,180

調整後EBITDA及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※1 減価償却費・償却費には、コンテンツ資産に含まれる繰延映画製作費、テレビ放映権ならびに自社制作のゲームコンテンツ及び原盤制作費の償却費を含んでいません。

※2 営業利益に含まれる項目。

セグメント別調整後OIBDA 見通し

(億円)

	FY23				11月時点 FY24見通し	2月時点 FY24見通し	11月時点比 増減
	営業利益	減価償却費・ 償却費※1	非経常的な 損(益)※2	調整後 OIBDA	調整後OIBDA	調整後OIBDA	調整後OIBDA
ゲーム& ネットワークサービス (G&NS)	2,902	1,177	－	4,079	4,750	5,000	+250
音楽	3,017	731	△60	3,687	4,200	4,300	+100
映画	1,177	535	－	1,712	1,700	1,700	－
エンタテインメント・テクノロジー & サービス (ET&S)	1,874	1,017	－	2,891	2,900	2,900	－
イメージング & センシング・ソリューション (I&SS)	1,935	2,479	－	4,414	5,250	5,250	－
その他、全社（共通）及び セグメント間取引消去	△552	215	－	△337	△550	△650	△100
金融分野を除く連結ベース	10,353	6,154	△60	16,446	18,250	18,500	+250
金融	1,736	277	△198	1,815	1,700	1,700	－
連結	12,088	6,431	△258	18,261	19,950	20,200	+250

調整後OIBDA及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※1 減価償却費・償却費には、コンテンツ資産に含まれる繰延映画製作費、テレビ放映権ならびに自社制作のゲームコンテンツ及び原盤制作費の償却費を含んでいません。

※2 営業利益に含まれる項目。

調整後OIBDA及び調整後EBITDAについて

調整後OIBDA（Operating Income Before Depreciation and Amortization）及び調整後EBITDA（Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization）は、以下の算式により計算されます。

調整後OIBDA = 営業利益 + 減価償却費・償却費※ - 当社が非経常的と判断する損益

調整後EBITDA = 当社株主に帰属する当期（四半期 / 中間）純利益 + 非支配持分に帰属する当期純利益 + 法人所得税 + 金融収益・金融費用に計上される支払利息（純額）
- 金融収益・金融費用に計上される資本性金融商品の再評価益（純額） + 減価償却費・償却費※ - 当社が非経常的と判断する損益

※ 上記の算式において、減価償却費・償却費には、コンテンツ資産に含まれる繰延映画製作費、テレビ放映権ならびに自社制作のゲームコンテンツ及び原盤制作費の償却費を含んでいません。

調整後OIBDA及び調整後EBITDAはIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。調整後OIBDA及び調整後EBITDAはIFRSに則って開示されるソニーの経営成績を代替するものではなく、追加的なものとしてご参照ください。

前年度（前年同期）の為替レートを適用した場合の売上高の状況、及び為替変動による影響額について

前年度（前年同期）の為替レートを適用した場合の売上高の状況は、当年度（当四半期 / 当中間連結会計期間）の現地通貨建て月別売上高に対し、前年度（前年同期）の月次平均レートを適用して算出しています。音楽分野のSony Music Entertainment（以下「SME」）及びSony Music Publishing LLC（以下「SMP」）、ならびに映画分野については、米ドルベースで集計した上で、前年度（前年同期）の月次平均米ドル円レートを適用した金額を算出しています。

映画分野の業績の状況は、米国を拠点とするSony Pictures Entertainment Inc.（以下「SPE」）が、全世界にある子会社の業績を米ドルベースで連結していることから、米ドルベースで記載しています。

為替変動による影響額は、売上高については前年度（前年同期）と当年度（当四半期 / 当中間連結会計期間）における平均為替レートの変動を主要な取引通貨建て売上高に適用して算出し、営業損益についてはこの売上高への為替変動による影響額から、同様の方法で算出した売上原価ならびに販売費及び一般管理費への為替変動による影響額を差し引いて算出しています。I&SS分野では独自に為替ヘッジ取引を実施しており、売上高及び営業損益への為替変動による影響額に同取引の影響が含まれています。

これらの情報はIFRSに則って開示されるソニーの連結財務諸表及び要約四半期（中間）連結財務諸表を代替するものではありません。しかしながら、これらの開示は、投資家の皆様にソニーの営業概況をご理解いただくための有益な分析情報と考えています。

音楽分野、映画分野、金融分野の業績についての注記

音楽分野の業績には、日本の(株)ソニー・ミュージックエンタテインメントの円ベースでの業績、ならびにその他全世界にある子会社の業績を米ドルベースで連結している、SME及びSMPの円換算後の業績が含まれています。

映画分野の業績は、全世界にある子会社の業績を米ドルベースで連結しているSPEの円換算後の業績です。ソニーはSPEの業績を米ドルで分析しているため、一部の記述については「米ドルベース」と特記してあります。

金融分野には、SFGI及びSFGIの連結子会社であるソニー生命保険(株)、ソニー損害保険(株)、ソニー銀行(株)等の業績が含まれています。金融分野に記載されている業績は、SFGI及びその連結子会社が日本の会計基準に則って個別に開示している業績とは異なります。

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、ソニーの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭又は書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーの経営陣の仮定、決定ならびに判断にもとづいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にソニーが将来の見通しを見直して改訂するとは限りません。ソニーはそのような義務を負いません。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

- (1) ソニーが製品品質を維持し、その製品及びサービスについて顧客満足を維持できること
- (2) 激しい価格競争、継続的な新製品や新サービスの導入、急速な技術革新、ならびに主観的で変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激しい市場競争の中で、十分なコスト削減を達成しつつ顧客に受け入れられる製品やサービス（イメージセンサー、ゲーム及びネットワークのプラットフォーム、スマートフォンならびにテレビを含む）をソニーが設計・開発し続けていく能力
- (3) ソニーがハードウェア、ソフトウェア及びコンテンツの融合戦略を成功させられること、新しい技術や配信プラットフォームを考慮に入れた販売戦略を立案し遂行できること
- (4) ソニーと他社との買収、合併、投資、資本的支出、構造改革その他戦略的施策の成否を含む（ただし必ずしもこれらに限定されない）ソニーの戦略及びその実行の効果
- (5) ソニーや外部の供給業者、サービスプロバイダやビジネスパートナーが事業を営む市場における法規制及び政策の変化（課税、及び消費者の関心が高まっている企業の社会的責任に関連するものを含む）
- (6) ソニーが継続的に、大きな成長可能性を持つ製品、サービス、及び市場動向を見極め、研究開発に十分な資源を投入し、投資及び資本的支出の優先順位を正しくつけて行き、技術開発や生産能力のために必要なものも含め、これらの投資及び資本的支出を回収することができること
- (7) ソニーの製品及びサービスに使用される部品、ソフトウェア、ネットワークサービス等の調達、ソニーの製品の製造、マーケティング及び販売、ならびにその他ソニーの各種事業活動における外部ビジネスパートナーへの依存
- (8) ソニーの事業領域を取り巻くグローバルな経済・政治情勢、特に消費動向
- (9) 国際金融市場における深刻かつ不安定な混乱状況や格付け低下の状況下においても、ソニーが事業運営及び流動性の必要条件を充足させられること
- (10) ソニーが、需要を予測し、適切な調達及び在庫管理ができること
- (11) 為替レート、特にソニーが極めて大きな売上や生産コストを計上し、又は資産・負債及び業績を表示する際に使用する米ドル、ユーロ又はその他の通貨と円との為替レート
- (12) ソニーが、高い能力を持った人材を採用、確保できるとともに、それらの人材と良好な関係を維持できること
- (13) ソニーが、知的財産の不正利用や窃取を防止し、知的財産に関するライセンス取得や更新を行い、第三者が保有する知的財産をソニーの製品やサービスが侵害しているという主張から防御できること
- (14) 金利の変動及び株式・債券市場における好ましくない状況や動向（市場の変動又はボラティリティを含む）が金融分野の収入及び営業利益に与える悪影響
- (15) 生命保険など金融商品における顧客需要の変化、及び金融分野における適切なアセット・ライアビリティ・マネージメント遂行の成否
- (16) 大規模な災害、紛争、感染症などに関するリスク
- (17) ソニーあるいは外部のサービスプロバイダやビジネスパートナーがサイバーセキュリティに関するリスク（ソニーのビジネス情報や従業員や顧客の個人を特定できる情報への不正なアクセスや事業活動の混乱、財務上の損失の発生を含む）を予測・管理できること
- (18) 係争中又は将来発生しうる法的手続又は行政手続の結果

ただし、業績に不利な影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。ウクライナ・ロシア情勢及び中東情勢に関する変化は、上記のリスク及び不確実な要素の多くに悪影響を与える可能性があります。重要なリスク及び不確実な要素については、ソニーの最新の有価証券報告書（その後提出される半期報告書を含む）又は米国証券取引委員会に提出された最新の年次報告書（Form 20-F）も併せてご参照ください。